

地域連携室

地域連携副室長 伊東 真弓

1 部門目標

- 1) 地域に密着した医療サービスを提供するため、地域の医療機関との情報交換や連絡調整を行い、病診連携・病病連携を推進する。
- 2) 入退院支援の相談機能の充実
 - ・病棟担当制 看護師/社会福祉士
 - ・入院前からの支援強化
- 3) 制度医療に関する相談機能の充実
 - ・FAST 及び助産制度利用

2 業務体制・スタッフ

室長（医師）1名

看護師 5名（副室長 1を含む）

社会福祉士 5名

精神保健福祉士 1名

非常勤事務員 5名

3 業務実績

(1) 病診連携

表1 年度別紹介患者統計（件）

	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
紹介患者登録	9214	9813	8997	8761	8558	7825

表2 医療機器の共同利用

	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
MR	207	153	188	171	156	93
C T	50	57	61	55	70	63
内視鏡	20	6	3	3	1	0
脳波	91	77	59	52	43	35
心理テスト	11	16	20	33	41	24
視野検査	12	21	13	23	19	10

表 3. 予約方法（件）

	平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度
FAX 予約	448	413	452	437	505	380
電話予約	3379	3379	3832	4327	4689	5090

表 4 紹介率と逆紹介率の推移（％）

	平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度
紹介率	68.7	72.4	77.4	80.0	79.1	70.1
逆紹介率	49.3	58.9	70.3	75.8	77.5	77.1

表 5 登録医 医療機関数（施設件数）

	平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度
登録医療機関	168	175	170	173	172	175

（2）相談対応・退院調整

表 6 対応件数

	平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度
入退院支援加算 1	507	486	635	706	693	754
入退院支援加算 3	199	226	234	266	250	249
退院時共同指導料 （うち 3 者以上）	25 (8)	8 (4)	9 (1)	6 (5)	16 (8)	17 (9)
介護支援等連携指 導料	111	96	55	25	28	46
連携機関・事業所と の面会	313	413	240	211	308	319
FAST 件数	139	184	276	297	302	351
助産施設相談件 数	29	27	27	20	36	41

* 令和元年度助産相談件数訂正変更あり

(3) 地域医療支援病院に関する業務

医療法に基づき、地域医療支援病院運営委員会を開催。施設要件である地域への医療関係者に対する研修・講演会開催広報を行った。

表7 令和5年度 地域の医療従事者等に対する研修・カンファレンス実績

公開カンファレンス	小児・内科他 全8回	院外参加者 229名 院内参加者 197名
感染防止地域連携合同カンファレンス	4回	院外参加者 45名 院内参加者 25名

(4) その他の活動

- 千葉県がん診療連携協議会（院外）への参画
- 千葉県児童虐待対策研究会（院外）への参画
- 千葉市要保護児童対策実務者会議（院外）への参画
- 地域医療推進委員会（院外）への参画
- 各区地域医療介護推進会議（院外）への参画

4 1年間の総括

紹介患者数は減る状況となっているが、そのなかで逆紹介率は令和2年度から上昇を続けており、地域医療支援病院の施設要件の紹介率、逆紹介率共に今年度もクリアする事ができている。今後は紹介数増加を目差し、減少の要因などを精査することが課題である。

当院の登録医制度は、開院当初からの地域の医療機関との共同診療システムである。閉院する医療機関と新規登録する医療機関の数が例年、ほぼ同数であり、総数として大きな変化はない。周辺地域の医療機関の動向を注視するとともに、開院した医療機関との連携強化が重要である。

地域連携に関する診療報酬の算定状況として、入退院支援加算1は、令和5年度、前年度比較で介入数が大きく増加した。診療科数が増えた背景もあるが、退院支援カンファレンスなどを通して多職種との連携がスムーズとなり、退院支援につながっていることも要因の一つとして挙げられる。また、退院時共同指導料、介護支援連携指導料など、外部機関や院外関係者との面談が必要な加算に関しては、感染状況からカンファレンス等、対面での連携が制限され、減少していたが、面会制限が緩和され、増加に転じている。今後も往診医師や訪問看護師、地域包括（千葉市あんしんケアセンター）介護支援専門員との協働による入退院支援強化を積極的に働きかけ、退院支援の強化を図っていく。

令和4年3月より青葉病院の分娩取り扱いが休止となったことで、千葉市の助産施設が当院のみとなり、介入件数が大きく増加している。FAST（ファミリーサポートチーム）の介入件数も年々増えていることから、今後も医師、看護師、コメディカル、事務職員それぞれの意識を高め、小さなことでも情報共有し、地域につなげていくことの重要性について共通認識を持つことが重要である。

地域の医療従事者等に対する公開カンファレンスや、地域医療支援病院の運営委員会については一部対面での開催も再開し継続できている。今後も、感染状況を注視しながら適切な方法を検討し開催していく。

5 今後の目標

- ・前方連携および後方連携充実のため訪問活動を継続。
- ・院内外の多職種との関係構築を積極的に図ることで、入院前からの退院支援体制の強化に努める。
- ・少子高齢化、認知症患者の増加に対応できるよう高齢者、認知症ケアの充実した支援強化に努める。
- ・小児虐待予防、対応、助産制度利用の適切な対応に努める。